

# 支援コンサルタントへのメッセージ

石川県／土木部／都市計画課／生活排水対策室／室長 **野村博**



## 1. はじめに

全国上下水道コンサルタント協会会員の皆様におかれましては、令和6年能登半島地震の発災直後から、本県の上下水道インフラ復旧活動にご尽力いただき、改めて深く感謝申し上げます。皆様がこれまでに培われた技術力に基づく迅速かつ的確な対応と被災地に寄り添った献身的な活動によって、本県の復興・復旧への道筋がしっかりと示すことができました。

## 2. 令和6年能登半島地震について

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震はマグニチュード7.6、輪島市と志賀町で最大震度7を観測しました。家屋の倒壊、土砂災害、津波などにより災害関連死を含む死者・行方不明者は659名、負傷者は1,936名、全壊6,167棟を含む11万6千件以上の住家が被害を受けました（令和7年10月9日時点）。また、能登の大動脈である、のと里山海道、国道249号等の道路の崩壊、液状化現象の発生、河川、港湾、上下水道など多くのインフラ施設に極めて甚大な被害が発生しました。

水道施設も配水管に加え、取水・導水施設、浄水施設など基幹施設に甚大な被害が発生し、発災直後には最大で約11万戸で断水が発生しました。他県からの被災自治体への応援職員の皆さん、他県から派遣された応援業者の皆さんのご尽力により、発災から5ヵ月で概ね断水を解消することができました。

下水道施設の被害状況としては、下水処理場は県内の57箇所のうち25箇所、ポンプ場は52箇所のうち12箇所が被災しました。このうち、被害の大きかった能登6市町（七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町、志賀町、能登町）については、下水処理場が20箇所のうち15箇所、ポンプ場が6箇所のうち5箇所とほとんどの施設が被災しています。また、管路については、県内の管路延長約6,334kmのうち372km、能登6市町では773kmのうち233kmと約3割が被害を受けております。

## 3. 地震発生後の対応について

今回の地震では、下水道が水道の給水開始に遅れることなく、上下水道一体で機能確保するため水道の復旧状況等を把握した上で、管路調査よりも閉塞解消や仮設配管設置等の応急復旧等を優先して実施しました。被災地



写真-1 倒壊家屋と人孔浮上  
(珠洲市宝立地区)



写真-2 浮上した重力濃縮槽  
(羽咋浄化センター)

において応急復旧対応業者が不足する中、支援自治体と下水道の維持管理業者や施工業者がセットで被災地に入り復旧支援を行っていただきました。応急復旧では、破損箇所の修繕、仮設配管や排水ポンプの設置を行いました。特に、珠洲市では処理区内の汚水が合流する最下流のポンプ場から処理場までの圧送管が被災したため、約1.6kmの仮設圧送管を敷設する応急工事を実施しました。本県が全国から多くの支援を受けたのは初めてであり、受け入れ調整に苦慮しながらも、各市町の管路調査及び本部業務等の手厚い活動により早期の応急復旧を図ることが出来ました。下水道関係では延べ3万2千人余りの方に支援に入っていただきました。改めてこの場をお借りして感謝申し上げます。

#### 4. 全国上下水道コンサルタント協会からの支援について

全国上下水道コンサルタント協会におかれましては、地震直後に広域災害対策本部および現地災害対策本部を設置していただき、迅速に被災状況の把握につとめていただき、1月6日には国土交通省や被災自治体との調整を開始していただきました。

1月12日には、石川県下水道対策本部支援調整隊との合同会議に参加していただき、熊本地震における対応事例の共有や「災害時支援者育成講習会」での資料提供を通じて、災害査定設計書作成のポイント等、被災自治体職員が適切かつ効果的に業務を遂行できるよう、実務的な指導を行っていただいた点についても感謝申し上げます。現地の被災市町を対象とした管渠の調査や災害査定図書の作成支援、さらに迅速な災害査定の実施を通じて、生活基盤の一刻も早い復旧を支える重要な役割を担っていただきました。

特に、能登6市町に対する浄化センターやポンプ場の災害査定設計書作成に対する支援は、被災した各自治体のニーズに即した具体的で実践的な支援活動でした。関係機関との調整や情報共有の推進、そして継続的なアドバイスの提供により、石川県内での復旧作業が迅速かつ効率的に進められたことに心から感謝いたします。

全国上下水道コンサルタント協会の活動は、単なる技術的な支援に留まらず、被災地に寄り添い、現場の声を大切にしながら進められた復旧支援です。石川県としても、協会の皆様が引き続き地域社会と協力し、防災・減災の取り組みを先導されることを心より期待しております。日頃から行われている平時の取り組みも含め、全国上下水道コンサルタント協会が果たされる役割は、今後ますます重要性を増していくことは間違ひありません。

結びにあたり、全国上下水道コンサルタント協会の皆様の、被災地への力強いご支援に改めて深く感謝申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興に向け、今後も全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

貴協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、感謝のメッセージとさせていただきます。



写真-3 仮設圧送管 (珠洲市)



写真-4 1月12日合同会議の様子